



諏訪湖通信99号

令和8年9月18日号発行：諏訪湖創生ビジョン推進会議



クリーンレイク諏訪「ふれあいまつり」を開催

クリーンレイク諏訪では、令和8年9月12日(土)に下水道への理解の増進と適正利用啓発を目的に処理場を開放する「2026ふれあいまつり」を開催しました。

処理場内の施設見学、プランクトンの観察、水の実験などのコーナー、下水道の仕組みなどのパネル展示、(丸ごと交換せずに機能を回復させる)管更生工事のVRでの紹介など、下水道に関する企画の他、書道パフォーマンスやクイズラリー、建設機械試乗体験など様々な催しもあり大盛況でした。

また、立科町を含む流域7市町村を始めとした県内市町村のデザインマンホール蓋の展示や、当所マスコットキャラクター「スワキング」の新マンホールカードを初めて配布したことから、多くのマンホールカード収集家が訪れ、開場前から受付に列を作るほどでした。天候にも恵まれ、1000名を超える皆様に、楽しみながら下水道への理解を深めていただくことができました。



10月1日は諏訪湖の日 「諏訪湖の日」電子ガイドブックを発行しました

諏訪湖創生ビジョン推進会議では、10月1日の「諏訪湖の日」に合わせ、令和8年度版の「諏訪湖の日」電子ガイドブックを発行しました。

ガイドブックには、概ね9月から10月にかけて開催される環境学習、湖畔清掃、文化・観光イベントなど、諏訪湖に親しみ、学び、楽しむことができるさまざまな催しを掲載しています。全14ページにわたり、諏訪湖に関する情報やイベントを紹介しており、秋の諏訪湖の魅力を再発見できる内容となっています。

「諏訪湖の日」は、諏訪湖流域下水道の一部供用開始日である10月1日を記念して、令和元年に制定されました。諏訪湖に感謝し、その豊かな環境を次世代へ引き継ぐとともに、多くの皆さんに諏訪湖の魅力を知っていただくことを目的としています。

電子ガイドブックは県のホームページで公開しています。ガイドブックをご覧ください、ぜひ秋の諏訪湖で開催されるさまざまなイベントにご参加ください。



電子ガイドブックはこちら

諏訪湖を楽しく学ぼう！ 9/26(土)は諏訪湖環境研究センターの施設公開

県民の皆様にはセンターの業務や研究成果等を広く知っていただくため、「諏訪湖の日」協賛イベントとして諏訪湖環境研究センターでは施設公開を実施します。調査船「かんけん1号」に乗って諏訪湖の調査を体験できるイベントのほか、試験研究室見学ツアー、プランクトンの観察や水の汚れの検査、諏訪湖の魚や水草の展示など、子どもから大人まで楽しめる内容となっていますので、是非ご家族連れでご参加ください。

○開催日時 令和8年9月26日(土) 9時～12時

＜展示ブース＞

・通常予約制のホワイエ展示を公開

・諏訪湖の魚や水草の展示

＜体験ブース＞

・顕微鏡によるプランクトン観察

・マイクロプラスチックの観察 等

＜諏訪湖調査体験＞(受付終了)

センター所有の調査船に乗って、湖上での採水やプランクトン採取、透明度の測定などを体験

＜試験研究室見学ツアー＞

通常は公開していない検査室・研究



詳しくはセンターのホームページをご覧ください。

水辺整備10Cゾーン(岡谷市) 広々した湖の風景を満喫する湖畔

諏訪湖の原風景である砂州や水生植物帯の等の豊かな環境を復元し、これらと人が触れ合えるような公園づくりをするゾーン

諏訪湖スマートインター1期工事分(県道岡谷茅野線まで)が令和7年7月27日に通行開始となり、産業や観光に寄与しています。



位置図

【整備(利活用)の方針】

・既存の人工なぎさの改良と生物多様性を創出する護岸整備範囲拡大による親水性の向上

・歴史資産である鎌倉街道や、砂防施設との連携など山麓から水辺までの河川空間を整備

【整備された施設】

・土石流災害を防ぎ、諏訪湖の流入負荷を抑える砂防えん堤を小田井沢4基を含め9基を整備

・サイクリングロード県施工区間

【親水性を持たせた水辺整備】

砂浜が波で浚われないように大きな石を湖側に設置、遠くには諏訪湖流域の源水が流れ出るハヶ岳を展望できます。

諏訪湖に面して岡谷南部中、湊小学校、みなと保育園があることから親水性を持たせた渚を整備しています。



この場所から見ると、主峰・赤岳は阿弥陀岳の背後に位置しています。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局：諏訪地域振興局企画振興課 TEL：0266-57-2901